

あなたの言が美濃加茂市の福祉を変えます

お知らせします

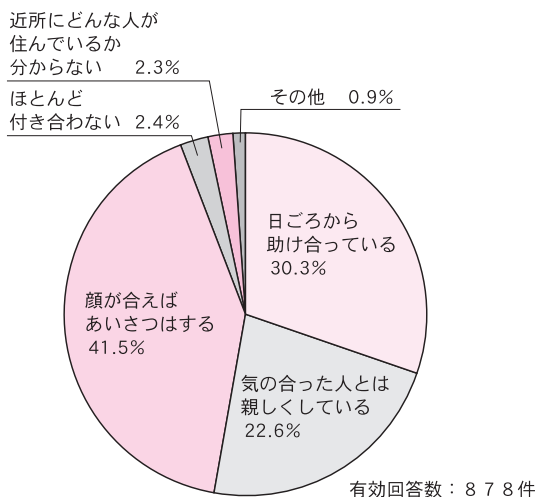
住民意識調査結果

福祉課
内線 316

近年、少子高齢化や核家族化の進行、地域意識の希薄化などが叫ばれ、家庭や地域で支え合う力が弱まりつつあります。

そこで、皆さんの積極的な参画による地域福祉体制の確立を目指して、現状や意向、要望を把握することを目的に「住民意識調査」実施しました。

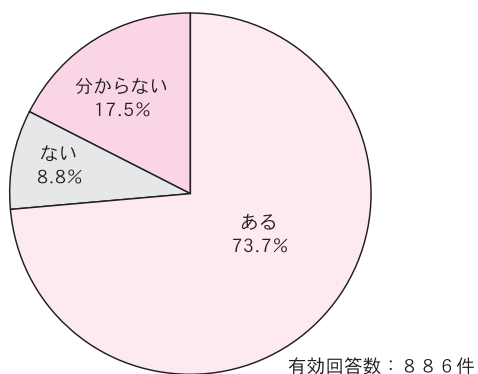
図1 近所付き合いの程度



近所付き合いについて見ると、「顔が合えばあいさつはする」程度の人
が約4割と多く、若年層ほど近所
付き合いが少ない傾向が見られま
した。

(1) 近所付き合いについて

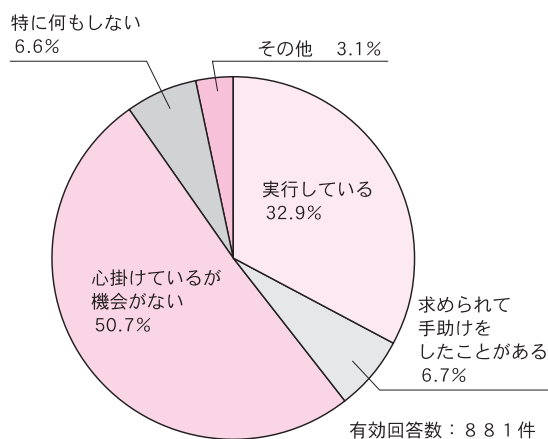
図2 地域への愛着の有無



全体の7割以上の人が、地域への
愛着を持っています。特に60歳代
以上では8割以上と高い率を示して
います。

(2) 地域に対する意識

図3 手助けの経験



困っている人を見つけたときの手
助けは、全体に「心掛けているが機会
がない」という人が多い傾向が見ら
れます。一方、20歳代や70歳以上で
は、「特に何もしない」という人が多
い傾向が見られます。

(3) 地域における助け合い

調査対象
昨年12月から今年1月にかけて、市内に在住する20歳以上の
住民のうち、無作為抽出による1,500人を対象に実施し
ました。
897人からご回答を頂き、回収率は59.8%となりました。
「近所付き合いについて」など12項目について、市民の皆さん
に伺いました。